

● 令和6年度 第8回 講演会『1型糖尿病』 ●

講師：県立広島病院 小児科 主任部長 神野 和彦 先生

実施日時：令和6年12月3日（火）14：00～15：30

会場：オンライン開催（ZOOM 使用）（難病対策センター）

対象者：1型糖尿病の家族、支援関係者、関心のある方

参加者：家族5名、保育士11名、養護教諭6名、看護師3名、
教諭2名、幼稚園教諭1名、校長1名（計29名）

担当：広島市

● 講演内容

- ① 診断される前の症状は？
- ② どのようにして診断するの？
- ③ 治療法はどのようにするの？
- ④ 親離れ、子離れ
- ⑤ 将来どうなるの？



● アンケート結果より

<参加された方の感想>

「とても参考になりました。ありがとうございました」

「1型糖尿病の症状だけでなく、どのように対応していけば良いのかを教えていただき、ありがとうございました。教育現場だからこそできる支援を行っていきたいです。このような貴重な機会をいただき本当にありがとうございました」

「非常にわかりやすく説明していただき、有意義な研修になりました。現在中学生の1型糖尿病の生徒が在籍しており、本人、保護者、主治医の先生と連携しながら対応しています。先生の言われた『自立』という言葉がキーワードだと感じました。自立に向けての支援を微力ながらできればと思っています」

「疾患についての話題に終始することなく、自立支援や子離れ・親離れのヒントも聞くことができました」

● 担当者より一言

1型糖尿病の概要から診断、最新の治療や成長段階に応じた対応や将来的なことまで大変分かりやすいお話を頂きました。広島もみじの会の会長にもご参加いただき、会の紹介や学校での対応についての的確なアドバイスもいただきました。今回も保育士など関係者からのご参加が多数あり、こどもの医療講演に関心を持って頂けるのは有難いと感じます。